

8月のねらい及び今月の各クラスの自己評価・自己評価を踏まえての改善点・保護者と地域への子育て支援

月のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・決まりを守ってプール遊びを楽しむ。(水に慣れる。) ・身近な動植物に興味を持つ。(虫捕り・野菜の収穫・草花での色水遊び。)
-------	---

クラス名	年長児(さくら組) 川村	年中児(うめ組) 川村	年少児(たんぽぽ組) 川村
自己評価	<p>プール遊びの経験を重ねる中で決まりを意識しながら遊べるようになっていった。また、水への抵抗感がなくなり、自分から泳ぎを楽しむ姿も増えていった。更に、野菜の収穫では、実った喜びや自分で育てた事で高まる美味しさを感じながら食べ物へ関心を持つきっかけとなった。</p>	<p>8月になると潜ったり、顔をつけてみようとする子の姿も見られてきた。水に対して苦手意識を持っている子は無理せず慣れるようにしていたが、友達が楽しんでいる姿を見たりすると自分も挑戦しようとする意欲が多く見られ、周りが楽しそうしている自然にやってみたくなる事を改めて感じた。また身近な動植物に興味を持つという事で野菜スタンプを活動に取り入れる事で改めて「この野菜はこうなんだ」という知る良い機会にもなっていた。</p>	<p>プール遊び、泥んこ遊び、小麦粉粘土、片栗粉粘土、色水づくり...と様々な事に挑戦する事が出来た。様々な感覚を手、足、目で感じながら、友達と関わる、感覚を「気持ちいいね!」「ぐちゃぐちゃになったね!」と共有する姿も増えてきた。草花での色水づくりでは、草花と色に興味を持ち、「この花は何色?お水は何色になる?」と疑問を持ち楽しむことができた。</p>
自己評価を踏まえての改善点	<p>先月の改善点より工夫し、思い切り活動を楽しむ事でその後の保育者の知らせに一層集中出来るようにする環境設定を行ってみた。決まりを守ろうとする子が増えていく中で、まだ難しい子にとげのある言葉を発する子がいる。何気ないフォローと相手を思いやった優しい言葉掛けでより良い人間関係が築けるように援助していきたい。</p>	<p>約束事についても繰り返し伝える事で少しずつ伝わってきているように感じる。改めて繰り返し伝える大切さを知り、今後も何事においても1度では伝わらないので繰り返し伝えていきたいと思う。</p>	<p>「楽しいからもっとやりたい」という気持ちも大事にしなが、メリハリということにも目を向け、良いタイミングで切り上げる。一つ一つの活動、活動と活動の間の時間も大切にしていきたい。</p>
保護者と地域への子育て支援	<p>関心を持っていること、力がついてきている運動遊びについてとそのエピソードをお帳面で発信していった。身近な大人に認められる喜びが意欲を一層高めていると感じる。一人一人を認めて力を伸ばしていくことが出来るように連携し、環境を整えていきたい。</p>	<p>連休明けから生活リズムが崩れ、気持ちの面も不安定になる姿も見られてきている。その為帳面や口頭で園での様子等のやり取りを行い、一人一人が安心して楽しく過ごせるようにしていく。</p>	<p>暑さからか食欲がなさそうな姿や、じめじめの憂鬱そうな姿も見られる。園での様子、お家での様子を共有しながら、無理なく、心地よく過ごせる様にしていく。</p>
クラス名	2歳児(すみれ組)	1歳児(ふたば組) 川村	0歳児(つぼみ組) 川村
自己評価	<p>8月から1名入園する。在園児は、一緒に遊ぼうと手を差し伸べたり、話しかける姿が見られる。又、初めは泣く姿に戸惑う様子も見られたが「そんなに泣かなくても良いんだよ」と優しく言葉を掛けて寄り添う姿も見られた。水遊びでもぐったり、顔に水がつくことを恐れず水の中で体を動かして遊ぶことを楽しんでた。お盆休み後から体調を崩す子が多いため、散歩やホールで運動会ごっこで体を動かして遊ぶことを楽しむことが出来た。</p>	<p>8月の水遊びは天候や子ども達の体調不良が続いたことにより第一週のみとなってしまったが、回を重ねるごとに、水にも慣れ、遊びも豪快になっていく様子を感じることができた。水が苦手な子もいたが、個々の様子に合わせて無理なく進め、遊びの内容も個々に合わせて行ったことで、どの子もその子なりに楽しむことができていたと感じる。</p>	<p>天気の良い日は体調を見ながら積極的に水遊びを楽しんだ。水を怖がる子がなく、顔にかかっても手で拭いたり、水を入れたタライに自分からゆっくり入って遊んだり笑顔で遊ぶ姿が見られた。金魚すくいや水車など遊び方が分からない物も、保育者の様子を見て真似っこ遊びをしながら楽しむ事が出来た。水遊びをする嬉しさからか、着替えも嫌がらずスムーズに行うことが出来良かった。</p>
自己評価を踏まえての改善点	<p>体調不良が続いてしまっている為、消毒・換気等をさらにこまめに行い、感染が広がらないように努めていく。体が大きくなるにつれ、体力もつき動きが大きくなってきている。運動遊びで体を大きく動かしたり、前転など色々な動きに挑戦しながら体を動かす事の楽しさを感じられるような活動を増やしていきたい。</p>	<p>手足口病や発熱等体調を崩す子の姿が多く見られた。9月に入っても暑い日が続く疲れが出やすいので、一人一人の健康状態を把握し、食事・水分・休息を十分に取っながら、快適に過ごせるようにしたい。</p>	<p>天気が悪かったり体調が思わしくない日には、ふたばぐみと散歩に出掛けた。一緒に過ごしたことでいろいろな行動や遊びを真似する事が増え良い刺激になったと感じる。今後もふたばぐみと一緒に活動する機会も設けながら、いろいろな事を吸収できる環境を作っていきたい。</p>
保護者と地域への子育て支援	<p>連休明けから体調を崩したり、食欲が無い子が見られる。家庭と連携を取りながら様子を見守ったり様子を伝えていく。</p>	<p>トイレトレーニング等、園での様子を家庭にも伝え、同じ歩幅で無理なく進めていけるようにしていく。また、夏の疲れが出やすい時期である為、連絡帳や登降園時を通して健康状態を十分に伝えあう。</p>	<p>夏の疲れ等も出てくるころなので、体調の変化等をいつも以上にこまめに記入し家庭と連携をとりながら様子を見守っていく。成長過程の悩みや不安等、家族に寄り添いながらアドバイスをしていき一緒に成長を見守っていく。</p>